

火災が起きたとき、まっさきに駆けつけて消火や救助にあたる消防士や消防団員。一刻を争う現場では、火災に関する知識はもちろん、確かな判断力や迅速な行動力が必要とされます。今回見学するのは、プロの消防士になるために勉強や訓練をする「福島県消防学校」。どんな授業が行われているんだろう？土湯小学校の皆さんといっしょに消防学校を探検してみよう！



福島市立土湯小学校4・5・6年生の皆さんの好奇心です。

1 火災防御をシミュレーション

CAI教室

発生した火災を、すばやく鎮火させるにはどうしたらいい？パソコン上でシミュレーションしました。的確な指示をしないと、どんどん燃え広がっちゃうよ！迫力いっぱいのリアルな体験に、みんなドキドキ興奮しました。



大変！早く火を消さない！

2 警報器や放水にもチャレンジ

警報実習室・消火実習室

火災の発生を知らせる火災報知器や放送設備のある警報実習室で、実際にボタンを押したり、放送アナウンスも体験。



天井に消火栓がついてる！



おもしろい！
皆さんただちに避難してください！

隣の消火実習室には3つの消火栓やスプリンクラーの設備があります。太いホースを持って放水に挑戦！



うわ～すごく強力だ！

狙って！

3 火災発生をリアルに体験

AFTシステム

消防訓練棟には、プロパンガスを実際に燃やして訓練する設備があります。



基地みたい！

たか高い！

「AFTシステム」とは Advanced Fire-fighting Training system (先端消防訓練システム)の略称



部屋中に炎があがってほんとうの火災現場みたい！実験室は最高370℃ぐらいいなるそうです。こんなところに突入する消防士って、勇気がある！



煙もすごい！

大きな火、怖い！

うわ～中が燃えている！